

保健 センター だより



今月の健康俳句

雀の子 こちよこちよ 歩く川堤

松坂 年造

今月の健康川柳

喉元で 味わうビール 胃を酔わせ

数川 謙二

※このコーナーは、大口俳句会・大口川柳クラブの皆さんのご協力により、「こころ」の健康づくりの一翼を担っていただいています。

令和8年度8020運動

歯の健康「コンクール」

80歳で20本以上自分の歯を残そうという「8020運動」の一つとして、80歳以上で20本以上、90歳以上で18本以上歯のある方を表彰します。左記のとおり審査をおこないますのでご応募ください。

※令和8年度より審査期間が変更されました。審査・応募を希望される方は左記の審査期間に審査を受けてください。

応募資格 ▼80歳以上（昭和21年12月31日以前生まれ）で8020表彰を受けたことがない方

▽90歳以上（昭和11年12月31日以前生まれ）で9018表彰を受けたことがない方

審査期間 7月31日（金）まで

（ただし診療時間内）

申込方法 尾北歯科医師会に加入している大口町・江南市・岩倉市の歯科医院で予約のうえ審査を受け

てください。

審査費用 無料

表彰対象者には、9月上旬頃、町からお知らせを送付します。

問合せ先 健康課 ☎94-00053

知っていますか？

□腔機能発達不全症と
□腔機能低下症



最近、歯科界で問題となっていることに、□腔機能発達不全症と□腔機能低下症とがあります。今回は□腔機能発達不全症についてお伝えします。

この疾患は、18歳未満の未成年で、食べたり、話したり、呼吸したりするという、□の機能が年齢相応に発達していない状態をいいます。□で呼吸したり、食事に時間がかかったり、極端な偏食があったり、おしゃべりの時の発音が不明瞭であったりすることがその特徴です。恐ろしいことに、放置しておくこと

で十分な社会生活を営むことができなくなる恐れもあり、なんと10代の子どもの30～50%の人に疑いがあると考えられています。

皆さんもお聞きになったことがあるかもしれませんが、物を食べることで、とりわけモグモグとしゃくすることには、単に栄養を摂取するというだけの機能ではなく、唾液の分泌を高め、□の中の自浄作用を働かせたり、さらに驚くべきことに、よく噛むと脳の活性化が起こることも研究で証明されています。つまり物を考えたり理解したりする機能、認知機能にも影響を与えるのです。

また、超高齢社会となった日本では、年齢の高い方の認知機能だけでなく健康状態も大きな問題となっています。年齢が高くなるとどうしても筋力や内分泌・外分泌、さらに代謝活性も低下しますが、□腔機能も例外ではありません。□腔機能の発達が十分でないと、年齢を重ねた時には、その十分でない状態からさらに能力が低下してい

ます。そうになったら…現代は「人生100年時代」なんて言われていますよね。日本で100歳以上の年齢の方は、現在約10万人となっていますが、□腔機能発達不全症を放置してしまうと、人生100年どころか、逆にどんどん平均寿命や健康寿命が下がっていく国にもなりかねません。

少子化と言われ、子どもが少なくなっている現代、この国や地域の未来を担う子どもたちには、子どもが多かった時代よりもますます期待されることは大きくなっています。そんな子どもたちの将来、知的で健康な個人としてだけでなく、この国全体の問題として、未成年のいま、できることがあると思います。今でなければできないことがあると思います。

もしかして…とお心当たりの方は、ぜひ一度、歯科を受診なさってみてください。

医療法人医仁会 さくら総合病院
デンタルセンター 歯科□腔外科部長
医療安全管理室長
歯科医師・□腔外科専門医 指導医・
博士（歯学） 北島正一郎